

2022年度 一般選抜(前期日程) 国語 出題のねらいと解答例

出典

堤林剣・堤林恵 『オピニオン』の政治思想史―国家を問い直す』 岩波新書

出題のねらい

本問題は、語句の意味・用法などを理解したうえで使いこなす能力、文章の構成や特徴ある表現を捉える分析力、論理の展開や要点を的確に読みとる理解力、内容全体を総合的にまとめる論理力、論理的な構成を工夫して文章にまとめる構成力を測っている。

昨年度までと同様、今年度の問題では長文を読み、それに基づいて語彙や文法などにかかわる基礎知識を問うとともに長文記述の問題を出題した。

解答例

問題 I (配点20点)

問一

- (ア) しょうあく (イ) じゅうちん (ウ) まぎ (エ) だっしゅ (オ) じょうせい

問二

- (あ) 所信 (い) 示唆 (う) 腕力 (え) 愚 (お) 知見
(か) 掲 (き) 語彙 (く) 変遷 (け) 覇権 (こ) 虚偽

問三

- a 2 b 5 c 1 d 3 e 4

問題 II (配点55点)

問一

3

問二

4

問三

3

問四

1

問五

2

問六

5

問七

4

問八

人びとが支配者に従う理由は、合理的思考や基礎づけ理論に依拠しているというよりも、慣れや心情に支えられた習慣や体に染み込んだ共通感覚・通念のようなものである。長期間それに慣れ親しんでいけば、当たり前になり、愛着心もわき、オピニオンとなるから。(120字)

問九

正しい理論があったとしても、それがオピニオンによって支えられなければ意味をなさず、同時に理論の正しさを追求することが重要であるというオピニオンがあつてこそ、理論が力を帯びる、ということ。(93字)

問題Ⅲ (配点25点)

評価方法

語句の適切な使用、文章の明快さ、問題文に提示された概念の理解、記述内容の論理性などを総合して評価する。

以上